

# リーダーズ

Council of leaders for  
parenteral and  
enteral nutrition

会 場

芦屋市民会館 本館

会 期

2025年10月4日(土)  
5日(日)

## 第18回 静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会 (PEN Leaders) 講演記録集

### － プ ロ グ ラ ム －

- 岡田正メモリアルレクチャー  
「臨床栄養と薬剤師」
- リーダーズ演題I(胃瘻、経鼻胃管)
- リーダーズ演題II(微量栄養素)
- リーダーズ演題III(高齢者、症例検討)
- リーダーズ演題IV(リハビリテーション)
- JAN・VIC演題
- 教育講演  
「医学書の編集者から見た論文投稿」
- リーダーズ演題V(在宅栄養管理、NST)
- ランチョンセミナー  
「PICCにまつわる話し」

# プログラム

## 10月4日(土)

11:30～11:35	<b>開会挨拶</b> 当番会長：野呂 浩史(市立芦屋病院 副病院長)
11:35～12:20	<b>岡田正メモリアルレクチャー「臨床栄養と薬剤師」</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演 者：大石 雅子(滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 教授)
12:30～13:30	<b>リーダーズ演題I(胃瘻、経鼻胃管)</b> 座 長：北河 徳彦(神奈川県立こども医療センター 外科) 西口 幸雄(大阪市立総合医療センター 消化器外科) 口演I-1 重症心身障害児者における胃瘻造設術と術後栄養管理に関する検討 山内 健(佐賀県医療センター好生館 小児外科) 口演I-2 胃瘻瘻孔開大・感染、唇状瘻に対してPEG-Jに変更・管理が奏功した1例 佐々木 亨(市立芦屋病院 外科) 口演I-3 経腸栄養継続が難しい症例に対する5%スコポラミン軟膏の当院での使用経験 片山 稔(大阪府済生会 茨木病院 薬剤科) 口演I-4 タムガイド <sup>®</sup> を用いて胃内の光源が確認できなかった3症例 藤江 純也(独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院 循環器内科・心臓血管外科病棟)
13:30～13:40	<b>総会</b>
13:40～14:25	<b>企業PRプレゼンテーション、企業展示</b> 座 長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) テルモ株式会社、アボットジャパン合同会社、株式会社大塚製薬工場、藤本製薬株式会社、ニプロ株式会社
14:25～15:10	<b>リーダーズ演題II(微量栄養素)</b> 座 長：山内 健(佐賀県医療センター好生館 小児外科) 衣笠 章一(公立中央総合病院 外科・消化器外科) 口演II-1 大球性貧血の原因検索～セレン欠乏症は多いのか～ 目黒 英二(函館厚生院 ななえ新病院 内科) 口演II-2 微量元素欠乏で重篤な経過を辿った2症例 北河 徳彦(神奈川県立こども医療センター 外科) 口演II-3 3年間の偏食により壊血病を発症した1例(その2) 西岡 弘晶(神戸市立医療センター中央市民病院 総合内科)
15:10～16:50	<b>リーダーズ演題III(高齢者、症例検討)</b> 座 長：田中 誠(医療法人青仁会 池田病院 外傷センター) 倉内 宣明(札幌徳洲会病院 外科) 口演III-1 医師主導型のポリファーマシー(polypharmacy)対策の検討 目黒 英二(函館厚生院 ななえ新病院 内科) 口演III-2 褥瘡治療後に発症した仙骨部巨大膿瘍に対して術後局所陰圧閉鎖療法を行いながら栄養管理した低栄養超高齢者の一例 生田 壮平(公立中央総合病院 外科・消化器外科) 口演III-3 交通外傷を契機に右脛骨高原骨折を呈し、6週間患肢免荷期間となったが下肢機能維持できた症例について 山中 章平(医療法人青仁会 池田病院 リハビリテーションセンター) 口演III-4 強制的な栄養の投与タイミングを考えさせられた4症例 野坂 仁愛(医療法人養和会 養和病院) 口演III-5 胃癌術後、高度栄養障害に陥った患者に対する栄養管理の一例 田中 晴香(医療法人青仁会 池田病院 栄養科) 口演III-6 重篤な病態時の積極的な栄養療法が全身状態および栄養状態の回復に寄与したと推察された一例 山田 麻由(福井県立病院 栄養管理室)
17:00～18:00	<b>リーダーズ演題IV(リハビリテーション)</b> 座 長：北出 浩章(関西医科大学総合医療センター 肝胆膵外科) 木許 健生(大阪府済生会 茨木病院 外科) 口演IV-1 急性期病院における栄養状態が回復期リハビリテーション病院での機能的自立度評価に及ぼす影響 辻本 貴江(神戸学院大学 薬学部) 口演IV-2 GLIM基準とサルコペニアからみた消化器癌術後の多職種連携リハビリテーション栄養管理の意義 土師 誠二(蘇生会総合病院 外科・救急科) 口演IV-3 後期高齢者大腸がん症例の下肢筋力値は術後経過に関連する 田村 宏(市立芦屋病院 リハビリテーション科) 口演IV-4 ICU看護師主体の摂食嚥下介入に向けた取り組み 高橋 都子(医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 看護部)

## 10月5日(日)

9:30 ~ 10:45	<p><b>JAN・VIC演題</b></p> <p>座長：林 泰生(杉田玄白記念公立小浜病院 外科) 野呂 浩史(市立芦屋病院 外科、NST)</p> <p>口演J-1 <b>CVポートのカテーテル先端が、右内胸静脈に迷入したHPN患者の1例</b> 吉川 正人(医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 外科)</p> <p>口演J-2 <b>中心静脈カテーテル使用比の管理とCRBSI抑制の関連</b> 石井みちる(荻窪病院 感染管理室)</p> <p>口演J-3 <b>発熱なく悪寒のみを訴え逆血培養にて診断されたCVポート関連血流感染の一例</b> 森安 博人(南和広域医療企業団 五條病院 内科)</p> <p>口演J-4 <b>上腕ポート留置術の定型化を目指して—手術看護マニュアルの作成</b> 吉村 有加(杉田玄白記念公立小浜病院 看護部)</p> <p>口演J-5 <b>胸部レントゲン計測を用いたPICCカテーテル長予測式の妥当性の検討</b> 木許 健生(大阪府済生会 茨木病院 外科)</p>
10:45 ~ 11:10	<p><b>教育講演「医学書の編集者から見た論文投稿」</b></p> <p>座長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演者：宮定 久男(フジメディカル出版 「Medical Nutritionist of PEN Leaders」編集部)</p>
11:15 ~ 12:30	<p><b>リーダーズ演題V(在宅栄養管理、NST)</b></p> <p>座長：栗山とよ子(福井県立病院 内科) ※当日、小山 照代(福井県立病院 栄養管理室)に変更 吉川 正人(医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 外科)</p> <p>口演V-1 <b>胃瘻造設後、在宅管理が可能となった1例</b> 松井香代子(医療法人青仁会 池田病院 栄養科)</p> <p>口演V-2 <b>多問題を抱えた患者に対する在宅栄養管理</b> 杉本 由佳(すぎもと在宅医療クリニック)</p> <p>口演V-3 <b>当院のNST活動の現状</b> 川原 裕子(関西医科大学総合医療センター 栄養管理部、NST)</p> <p>口演V-4 <b>当院におけるICU看護師の栄養管理に対する意識変化</b> 嵯峨 有紗(医療法人愛心会 東宝塚さとう病院 看護部)</p> <p>口演V-5 <b>NSTは何をできたのか～高齢者における評価と静脈栄養普及による影響の検討</b> 野呂 浩史(市立芦屋病院 外科、NST)</p>
12:30 ~ 13:20	<p><b>ランチョンセミナー「PICCにまつわる話し」</b></p> <p>座長：井上 善文(千里金蘭大学 栄養学部) 演者：目黒 英二(函館厚生院 ななえ新病院 診療部長 兼 感染対策室室長) 共催：ニプロ株式会社</p>
13:20 ~	<p><b>次回学術集会のお知らせ、閉会挨拶</b></p> <p>第19回当番会長：齊藤 雅也(社会医療法人志聖会 総合犬山中央病院 院長) 第18回当番会長：野呂 浩史(市立芦屋病院 副病院長)</p>